

第19回全日本大学女子サッカー選手権大会



大健闘!

11月26日(金)全日本大学女子サッカー選手権大会(通称:インカレ)が開幕した。1次ラウンドでは、全国各地の予選を勝ち抜いた16チームを、4チームずつ4つのグループに分け、総あたりのリーグ戦を行い、各グループ1位が準決勝に進出することができる。尚美学園大学は、創部以来このインカレで優勝することを目標に活動を続けてきた。

創部5年目、今季ようやく4学年が揃った新星が、夢の舞台“インカレ”で、尚美旋風を巻き起こすべく、熱い戦いを繰り広げた。

第1戦 尚美0-0早稲田 念願の初出場を果たした尚美学園大学、女王相手に渾身のドロ-!

初戦の相手は早稲田大学だ。早稲田大学は、昨年度の大学女子サッカー日本一に輝き、今年度の関東大学女子サッカーリーグ(通称:関カレ)でも全勝優勝、まさに大学女子サッカー界の“女王”というべきチームだ。尚美学園大学も、関カレでの対戦では0-4と敗戦。しかし、優勝を目指す為には避けては通れない相手。チャレンジャーである尚美学園大学は、この一戦に全てをぶつける覚悟で臨んだ。試合開始28秒で、あわやゴールかと思われるシュートを受けた尚美学園大学。この試合が、かなり苦しい展開になることを予想させる。一人一人が高い個人技を持つ早稲田大学に対し、尚美学園大学は、組織的な守備で対抗。ボール保持率は圧倒的に早稲田大学だが、簡単にはゴールを割らせな



い。何十本とシュートを浴びるも、前半は0-0で折り返した。後半に入ると、徐々に足が止まってくる尚美学園大学。それでも勝利への執念で、なんとかゴールを死守し続けると、尚美学園大学にも得点のチャンスが訪れる。しかし、そこは女王の意地か。簡単にはゴールを許さない。時間は一刻一刻と試合終了へと近づいていく。早稲田大学は、全員攻撃に近い形で尚美学園大学ゴールへと迫るが、放たれるシュートは全て枠の外。そして、試合終了の笛。死力を尽くした戦いは、女王相手に価値ある引き分けで幕を閉じた。

第2戦 尚美0-4吉備国際 力及ばず。無念の敗戦。

第2戦の相手は、吉備国際大学。今年9月に行われた国民体育大会では、岡山県代表として準優勝を収めており、早稲田大学に匹敵する強豪チーム、厳しい戦いが予想された。とは言え、前日早稲田大学相手に引き分けた尚美学園大学は、なんとしてもここで勝利し、準決勝進出に向けて前進したいところ。しかし、それは吉備国際大学も同様。試合開始直後に一気に攻め込まれた尚美学園大学は、一度はクリアするもののそのボールを拾われ、放たれたシュートは無情にもゴールに吸い込まれた。開始早々1点を失った尚美学園大学であったが、まずは1点を返すべく、攻撃を仕掛ける。何度もシュートチャンスが訪れるが、なかなか得点を奪うことができず、前半が終了。0-1のまま、後半を迎える。後半に入ると、流れは吉備国際大学に。DFの寄せが甘くなったところを突かれ、ミドルシュートから2点を奪われる。何とか反撃の糸口を掴みたい尚美学園大学であったが、逆にダメ押し4点目を奪われるとそのまま試合終了。全国の壁はあまりにも厚く、無念の敗戦を喫した。



第3戦 尚美8-0静岡産業 全員で掴んだ悲願の初勝利!

最終戦の相手は、静岡産業大学。互いに1位の可能性が無くなったこの試合。それでも尚美学園大学は、目標にしてきたインカレの舞台上で悲願の一勝をと、1,2戦目同様高いモチベーションで試合に臨む。前半開始直後から、ボール保持率で上回る尚美学園大学は、個人の持ち味を随所に発揮。前半だけで6得点を奪い、試合を優位に進める。後半に入っても、攻撃の手を緩めない尚美学園大学は、2得点を追加。悲願のインカレ初勝利を手にした。



応援ありがとうございました!

早稲田大学に引き分けるも、次の吉備国際大学に完敗。そして静岡産業大学に大量得点での勝利。尚美学園大学の初めてのインカレは、様々な思いが交錯し、幕を閉じた。この経験が、尚美学園大学を強くし、成長させていくことだろう。尚美学園大学の挑戦は始まったばかり。大学女子サッカー日本一を目指した戦いは、これからも続いていく。



埼玉県女子サッカーNo.1決定戦

第3回会長杯埼玉県女子サッカー大会

◆準決勝 12/19(日) 11:00 or 13:30 Kick Off

会場: 武蔵丘短期大学

◆決勝 12/23(木) 9:30 Kick Off

会場: 埼玉スタジアム2002(メインピッチ)

対戦相手は未定です。今シーズンあとわずかの公式戦。応援よろしくお願いします!

編集後記

4年間、この大会のために頑張ってきたと言っても過言ではないインカレが遂に終わりました。結果は決して満足のいくものではありませんでしたが、それでも後悔はありません。大阪という遠い地にもかかわらず、応援に駆けつけてくださった方々。応援には来られなくても、私達の勝利を信じ、支援してくださった方々。私達がどうすれば勝てるのか知恵を絞り、常に導いてくれたスタッフ。そして、ピッチの外から日本一熱い応援で試合に出ているメンバーを後押ししてくれた仲間たち。全員含めて、これが尚美学園大学女子サッカー部なんだという試合をすることができました。尚美でサッカーができて本当に良かったなと思いました。直接試合を見られなかった方々に、このニュースを通して、少しでもそういった尚美らしさが伝わればいいなと思います。私達4年生が出場できる試合も残りわずかとなりました。1つでも多く、後輩たちに何かを残せるように、全力で頑張っていきたいと思っておりますので、最後まで応援の程よろしくお願い致します。

尚美学園大学女子サッカー部 吉田 葵

11月の戦績

19戦9勝9敗1分

◆第19回全日本大学女子サッカー選手権大会 1次ラウンド

尚美学園大学	0-0	早稲田大学	△
	0-4	吉備国際大学	×
	8-0	静岡産業大学	○

◆第18回埼玉県女子サッカーリーグ1部

尚美学園大学	12-0	戸木南ポンパース	○
	4-0	上福岡女子SC	○
	3-0	大東文化大学	○
	6-1	FC JAM-G	○
	6-1	戸木南ポンパース	○
	5-2	上福岡女子SC	○
尚美学園大学ピンクス	4-0	戸木南ポンパース	○
	1-3	エルフェン狭山マリ	×
	1-2	上福岡女子SC	×
	3-2	FC JAM-G	○
	0-5	大東文化大学	×

◆練習試合 (各試合とも試合総本数での得点結果となる)

尚美学園大学	1-3	浦和レッズレディース	×
	0-10	本庄第一高校(男子)	×
	0-1	筑波大学	×
	0-3	早稲田大学	×
	1-2	静岡産業大学	×